

# 市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～

## 立浪部屋が知事に表敬訪問



平成19年12月4日、立浪部屋親方、市長、立浪部屋関係者が橋本知事を表敬訪問しました。

立浪部屋は、平成19年8月に東京両国からつくばみらい市に移転しています。

(写真は茨城新聞社より提供していただきました。)

## 市営住宅から暴力団員の排除



平成19年11月29日、常総警察署長と市長との間で、「市営住宅における暴力団員排除に関する協定書」締結の調印式が行われました。

この協定書は、市営住宅からの暴力団員排除を目的に、相互の情報交換や不法行為を受けるおそれがある場合に警察から受ける支援などについて合意がなされたものです。

## 宇宙米が誕生しました

平成19年11月16日に、市長と茨城みなみ農協関係者および組合員の井土正義氏(写真中央右側)は、衛星リモートセンシング技術を用いた宇宙米のPRのため橋本知事を表敬訪問しました。

リモートセンシングとは、人工衛星に載せたセンサー(観測機)を用いて、水稻の生育の様子を調査する技術です。

その技術を利用し、米のタンパク含量を広範囲に調査し、栽培技術に反映させることにより、タンパク含量の少ないお米を作ることが可能となります。その結果、茨城みなみ農協管内のお米はさらに良食味で高品質なお米に生まれ変わります。

なお、宇宙米という名前の由来は、宇宙から人工衛星により調査することから、この名前になりました。

お米は、タンパク質の含量が低い方がおいしいとのこと。

